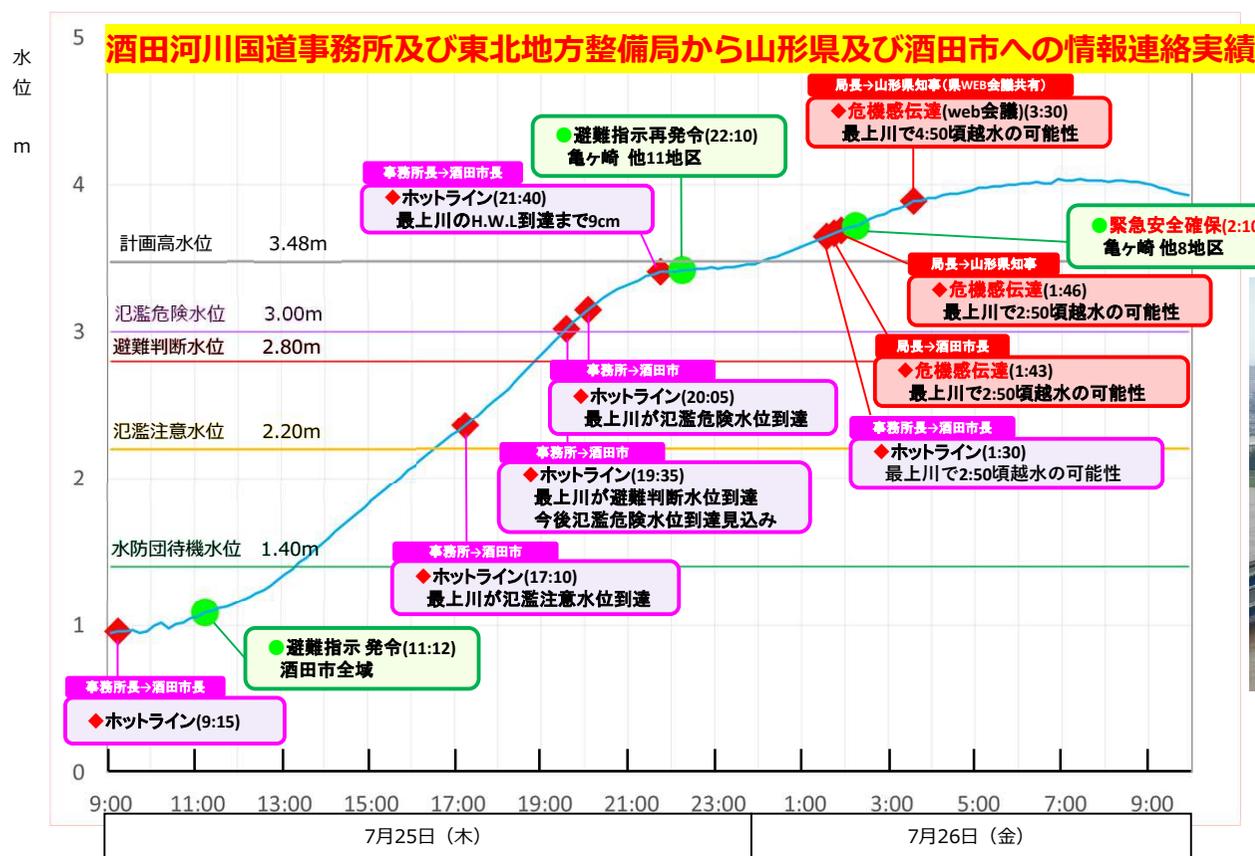


参考資料1

酒田河川国道事務所及び東北地方整備局から山形県及び酒田市へ危機感の伝達

- 最上川においては、酒田河川国道事務所長と酒田市長とで早い段階からホットラインを構築し、河川の水位の状況や避難行動につながる情報などを伝達。
- 7月25日深夜から翌日未明にかけてさらに水位が上昇し、酒田市街地において越水の恐れがあるとの予測を基に、東北地方整備局長から山形県知事・酒田市長に危機感を伝達。
- これを受け山形県ではただちに災害対策本部員会議を開催したほか、酒田市では緊急安全確保を対象地区に発令。



最上川下流左岸3.0k付近

- ・青森県鶴田町野木地先(岩木川左岸35.6k付近)は、令和5年度の完成を目指して堤防事業中。
- ・これから事業する箇所は一部で堤防が低いところがあるため、「重要水防箇所」として位置づけ、水防団と現地調査を行い要注意箇所や水防工法の確認を実施していた。
- ・今回の洪水は、近年で被害の大きかった平成25年9月洪水と同規模の恐れがあったため、**鶴田町水防団 野木分団(約20名)**が積み土のう工(3段積み、L=15m)を実施し、岩木川の氾濫を防いだ。



鶴田左岸地区引堤(黒：旧堤、赤：新堤)



積み土のう工で岩木川の氾濫を防ぎ、鶴田町やつがる市への氾濫を防ぐことが出来た

